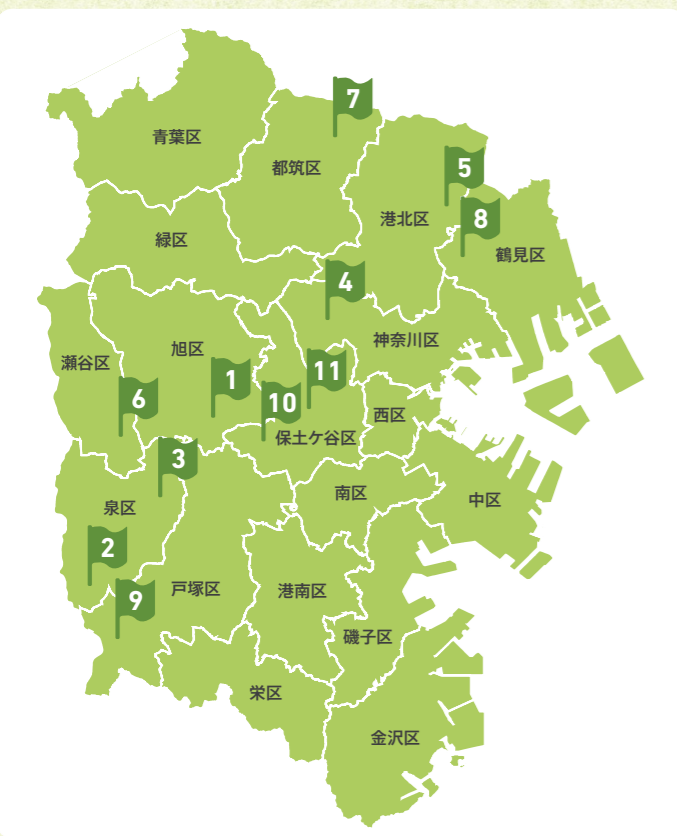


市内の農園付公園



市内には11か所あり、初心者からベテランの方までたくさんの方が野菜づくりを楽しんでいます。園内を散策することもできますので、まずはお近くの農園付公園に足を運んで農を感じてみてはいかがでしょうか。



市内の農園付公園

- ① 南本宿第三公園 旭区南本宿町82-5
- ② 泉が丘公園 泉区泉が丘3丁目6
- ③ 岡津町ふれあい公園 泉区岡津町2619-1
- ④ 菅田町赤坂公園 神奈川区菅田町222-1
- ⑤ 師岡町梅の丘公園 港北区師岡町511-3
- ⑥ 阿久和富士見小金台公園 瀬谷区阿久和東2丁目61-1
- ⑦ 大榎杉の森ふれあい公園 都筑区大榎町534
- ⑧ 東寺尾一丁目ふれあい公園 鶴見区東寺尾1丁目13
- ⑨ 深谷町ふれあい公園 戸塚区深谷町1272
- ⑩ 今井の丘公園 保土ヶ谷区新桜ヶ丘1丁目42
- ⑪ 仏向原ふれあい公園 保土ヶ谷区仏向町1252番1

☆区画の空き状況、利用料金等については、各公園の指定管理者にお問い合わせください。(各公園のホームページもご参考としてください)

市民推進会議広報誌・バックナンバー公開中!



市民推進会議広報誌のバックナンバーを横浜市のHPで公開しています。市民の森をレポートしたバックナンバーもあるので、ぜひアクセスしてみてください!

詳しくはこちら!



横浜みどりアップ計画とは?

緑豊かな環境を将来に残すために、市民の皆さんと一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています。

横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは?

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

Yokohama みどりアップActionとは?

みどりアップの現場を市民目線でレポートし、その場へ「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような緑の魅力をお伝えします。私たち市民委員と一緒に緑のAction(行動・活動)を起こしましょう!!
※令和元年度に「みどりアップQ」からリニューアルしました。

市民推進会議広報誌



ご意見・ご感想をお待ちしています!

みどりアップActionについて、ご意見・ご感想、取り上げてほしい特集テーマなどのご要望をお待ちしています。いただきましたご意見・ご要望は、今後の発行の参考にさせていただきます。

詳しくはこちら!



横浜みどりアップ計画
市民推進会議広報誌

Yokohama みどりアップ Action

市民が発信

Vol.5

2021.10



YokohamaみどりアップAction 第5号
(旧みどりアップQ) (市民推進会議広報誌第0号) 令和3年〇月発行
編集: 横浜みどりアップ計画市民推進会議広報・見える化部会
発行: 横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

問合せ
横浜市環境創造局政策課(事務局)
TEL: 045-671-4214 FAX: 045-550-4093
E-mail: ks-mimiplan@city.yokohama.jp



横浜みどりアップ計画



岡津町ふれあい公園の平面図

園内はバリアフリー
車いすの方もベビーカーの方も
散策を楽しめます。
四季折々の農景観を
感じてみてください。

ホームページは
こちら



オクラの花道
オクラの花、見たこと
ありますか？
園路の脇にキレイに
咲いていました。

実はこんな工夫も！
園路は透水性舗装。
雨水を少しずつ浸透させて、
浸水被害を低減しています。

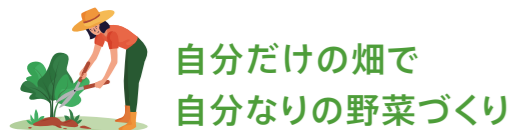
自然体験ゾーン
既存の梅林が残されています。
梅の時期には癒しの景観が。

農体験ゾーン
個人区画エリア（38区画）
団体区画エリア（3区画）
協働農園エリア：
地域交流を目的とした農園。
散策の方も管理者の許可があれば
収穫可能！
収穫体験イベントも開催されています。



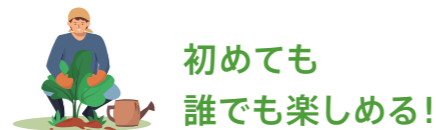
農園付公園で始める野菜づくり

梅雨明け間もない晴天の7月、泉区緑園都市に近い「岡津町ふれあい公園」を訪問しました。公園といっても中央に広がるのは農園、そして周りを囲む樹林。ここには、子どもや高齢者、障害のある方、誰もが野菜や土に親しめるきっかけがありそうです。



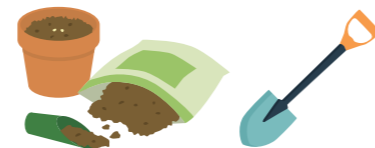
農体験ゾーンの団体区画で最初にあったのは、かわいい利用者さん。地元保育園の園児でした。ちょうど収穫にきたところで、手に持っている野菜を見せてもらおうと、ピーマン、トマト、ナス、ししとうと色鮮やかな夏野菜でした。「どんな野菜が好き？」という問いかけに、意外にも「ピーマン！」という元気な声。園では収穫した野菜を調理し、給食として食べているそう。みんな自分の手で育てた野菜の美味しさをよく知っているんですね。

2年以上継続して個人区画を利用しているという方にも畑を見せていただくと、こちらにも立派なトマト、ナス、オクラが育っていました。話を聞くと、せっかく美味しそうに育ったトウモロコシを、ハクビシンに食べられてしまったとのこと。畑の周りをしっかりと網で囲って獣害対策をしていました。



公園にいるベテラン栽培相談員が、土づくりをはじめ、植付けから収穫までの野菜の育て方を定期的にアドバイスしてくれます。クワやスコップ、ジョウロ、バケツなどの道具の無料貸出しや土の酸度を測定するサービスも。菜園活動をサポートしてもらえます。

園内には、高齢者の方でも足腰に負担をかけずに車イスのまま野菜づくりが楽しめる「ハートフル菜園」もありました。ここでは近隣の特別養護老人ホームと協働で野菜づくりをしているそうです。



この公園を管理しているのは、横浜に根差して130年の歴史を持つ種苗会社。利用者の皆さんは専門の会社から種や肥料を注文することもできるので安心ですね。ここでは「はまっ子ユキ」という、市内の公園緑地や街路樹の管理で出た剪定枝や刈草をリサイクルした環境にやさしい堆肥を提供していました。

感染症が流行する前は、近隣の特別養護老人ホームと連携しながら、農園で採れた野菜を使ってBBQや焼き芋をして、地域の皆さんとの交流を図っていました。再開を楽しみに待っている人もきっと多いことでしょう。



ここにみどり税

みどりアップ計画では、市民が身近に農体験ができる公園として、農園付公園を設置しています。公園整備の一部に横浜みどり税を使っています。

